



第17号
平成4年
1992

会報

にしきうら



高知県立須崎工業高等学校同窓会

(表紙説明)

《碑文》

生 徒 憲 章

高校生活は 私達の人生で最も多感かつ
二度と体験できない時期であることを深
く自覚し この学び舎が真に人生の礎と
なるよう この憲章を指針として努力を
重ねることを誓い ここに生徒憲章を定
めます

一、私たちは

須崎工業高校を誇り
とし社会の信頼に
応えます

一、私たちは

日々の学習を通し
有能な工業技術者を
目指します

一、私たちは

心身を鍛え規律
ある健康な生活を
送ります

一、私たちは

真理と正義を重
んじ人権を尊重
します

一、私たちは

自主独立の精神を
持ち視野を世界に
拡げます

高知県立須崎工業高等学校
生徒会

生徒憲章建立に際して

母校創立50周年記念式典（平成3年11月22日）にあたり、多数の皆様より寄せられました「創立50周年記念事業協賛金」の多額の援助（PTAも負担）によりまして「生徒憲章」の記念碑が建立され、平成4年2月29日に生徒、職員一同により除幕式が行われました。ご支援に感謝とお礼を申し上げます。

事務局 記

《写真提供…電気科 川西輝道先生》

目 次

表紙説明 生徒憲章

創立50周年 母校は生まれ変わりつゝあります……………	同窓会 会長 清家 寛…	2
これからの工業教育……………	学 校 長 森岡 清…	3
学校近況……………	教 頭 岡崎 紀秋…	4
進路状況について……………	進路指導部長 西川 哲夫…	5

支部だより

陸に海に……………	関東支部 野瀬 公介…	6
京滋支部誕生の報告と御礼……………	京滋支部 田村 武夫…	7
須工卒業50年後の徒然に思いを巡らせ……………	大阪支部 山田 弘市…	8
思いつくままに……………	窪川支部 國枝 幸治…	9
嬉しい後遺症……………	高知支部 森 久敬…	10

クラブ紹介

空 手 部……………	県空手道夏季大会 優勝……………	11
ソフトボール部……………	活動報告……………	12
卓 球 部……………	活動報告……………	13

事務局より

開校記念講演……………	野並 允温……………	14
本部役員紹介……………	……………	15
平成3年度決算並びに平成4年度予算……………	……………	16
創立50周年記念事業協賛金会計報告並びに 「記念誌」購入についてのお願い……………	……………	17
都道府県別会報届先 会員人数……………	……………	18
終身会費納入者名（一ケ年間） 平成3年11月23日～平成4年9月30日……………	……………	19
写真紹介……………	……………	20～21
会報届先不明者名……………	……………	22～23
校歌		
各種証明書の発行について		
編集後記		

創立五十周年

母校は生れ変わりつゝあります

同窓会長 清家 寛

ご承知の通り昨年十一月二十二日、母校創立五十周年記念式典並に祝賀会が盛大に挙行されました。

この記念行事が立派に行われましたことは、森岡校長先生を中心に母校諸先生方の一体となったご尽力と御指導による生徒諸君の自覚に基くものと、深い感銘を覚え心からお祝い申し上げます。

同窓会の皆様には、平業格別のご協力を賜り厚く御礼申し上げます。特に五十周年記念事業に対しては、深いご理解と御賛同を賜りお蔭さまで左記の事業を遂行することができました。

母校創立五十周年記念同窓会事業

- 一、旧校舍跡地に記念碑の建立
- 一、校旗を新調して母校に進呈
- 一、会員名簿の発行

一、母校記念事業に対する協賛金の協力

一、記念植樹

一、記念式典並に祝賀会への参加

その他、同窓会有志による高知新聞紙上への祝賀広告もして下さるなど、会員の皆様の御協力に心から感謝とお礼を申し上げます。

次に会員の皆様が大変嬉しいことをお知らせ致します。それは、

一つは、母校が五十周年を契機に生れ変わりつゝあることです。

二つは、母校が職業高校として名声が高まりつゝあることです。

母校生徒会は、創立五十周年記念式典に於て、生徒憲章を発表されました。この生徒憲章はその冒頭に「高校生活は、私達の人生で最も多感かつ、二度と体験できない時期であることを深く自覚し、この学び舎が真に人生の礎となるよう、この憲章を指針として努力を重ねることを誓い、こゝに生徒憲章を定めます。」と記されております。

そして生徒会では、今年二月母校玄関前に立派な生徒憲章の記念碑を建立されました。

後輩の生徒諸君は、諸先生方の御指導の下、この生徒憲章の体得に向つて努力してゆかれることとして、勇気ある後輩諸君に対し、心をこめて激励の言葉を送りたいと思ひます。

後輩の生徒諸君、大いに頑張つて下さい！

母校諸先生方は、校長先生を中心に一体となって指導に取り組んで下さっています。

また、母校には最新の施設や設備機器が逐次導入されており、校舎の内外装の改修工事も本年度から着工されておりますので、母校の声価は年と共に高まってゆくものと拝察いたします。

次に今年の春の教員異動で、森教頭先生が佐川高校の校長に御栄進されました。後任には、岡崎教頭先生が御着任されました。森教頭先生は、母校の発展に大変ご尽力下さった同窓の先生です。心から御礼とお祝いを申し上げますと共に、今後のご活躍をお祈り申し上げます。

岡崎教頭先生は、高知東工業高校から御転任された御立派な方です。どうかよろしくお願いいたします。

五十周年を契機に、生れ変わりつゝある母校の姿の一端をご紹介申し上げます。母校の益々の御発展と、合せて会員皆様の御健康と御活躍を心からお祈り申し上げます。

終りに臨み、本会報発行にご協力下さいました方々並に同窓会事務局諸先生方の御労苦に対し、衷心より感謝とお礼を申し上げます。



これからの 工業教育

学校長 森岡 清

会員の皆様方お元氣ですか。お伺い申し上げます。昨年の五十周年記念行事では、大変お世話様になりました。学校ではまだその余韻が残つていまして、新しい次の世代に向かつての堅実な歩みを始めています。

三月の卒業式前には、昨年生徒会によって制定されました「生徒憲章」が、同窓会並びにPTAのご援助によりまして、立派な記念碑になり、これを学校全体の目標にかけて今後の発展向上の糧にしようといたしております。(表紙写真をご参照下さい) 同窓会が、このように学校の発展に大きな寄与が出来ますことは、ひとえに会員の皆様方のご理解あつてのことと、心から御礼申し上げます。

さて、今回は表題を「今後の工業教育」とさせていただきました。いまや日本のめざましい経済発展について、そのもともとなるものが、日本の工業であることは誰の目にも明白に認識されていると考えられます。その日本の工業を中心になって支えてきたのが、ほかならぬ工業高校の卒業生だと私は確信いたしております。

日本の工業が、大きく変革を始めたのは、約三十年前頃ではなかつたでしょうか。その中心をなすものは、生産システムの合理化でありました。自動化された専用工作機械の開発と導入にはじまり、さら

にはコンピュータ制御の汎用工作機械、そして工業用ロボットと工程管理の進歩は、ついにファクトリー・オートメーションへと進んでまいりました。

一方、化学工業においてもプロセス制御の発展から、装置工業化が進み、特に優れた各種センサーと新素材の開発は工業に新たな可能性をもたらしてきました。

また近代工業の変革を可能にした影には、何とんでもエレクトロニクスの発展があつてのことです。なかもコンピュータの予想以上の発達、工業のシステム化に大きな役割を果たしています。

以上のことは、工業教育でも工業技術の最先端の話として頭に入れておく必要があると思います。

ずっと昔の工業学校は、その地域の工業技術のメッカとしての存在を自負していました。工業技術に關しては工業学校、工業高校に行けばわかる、という時代がありました。

いま、工業高校は理論的にはそうした技術面の強さは持つていても、実際のことでは若干の隔たりを感じています。

工業技術は理論をいかに応用するかという応用技術が生かされなければなりません。

学校では、基礎基本を重視していますが、これに應用技術を加味すること、すなわち「考える力」をつける教育が必要になってきていると思います。

「考える力」をつけるということは、教育では、「思考のステップ」を教えることだと思えます。

一つの課題を解決するために、どのような解決法があるかを、論理的、系統的に考えていく手順を教

え、そして、身につけさせていくことであります。特に工業高校ではその助けとしての実習・実験が、その實際を学ぶ上で極めて重要な意味を持つものであります。

現在、工業高校の実験実習の施設・設備は、この十年間で見違えるほど近代化されてきました。そして、さらに充実されようとしています。近代工業の発展の方向を見ながら内容の検討には十分な意を尽くしていく必要があります。

私はこれからも、工業教育が日本の将来を担う大切な役割を持つものと信じています。

生徒たちは、それぞれに個性があり、適性を持つていて、必ずしも全員が工業系に係わつていくものばかりではないでしょう。しかし、何れの道に進むにしても、工業的な合理的問題解決の手順は生涯にわたつて役に立つものと思つていきます。

これからの工業教育は、工業の持つ合理性を基に、考える力を養い、そのことが社会の一員として、人としての価値ある人生を過ごせるような人物の教育につながるようにと考えているところであります。

学校では、三年生の就職戦線がまさに始まろうとしています(九月中旬)。生徒たちは、未知への挑戦に緊張の時期を過ごして、私達にはその緊張がひしひしと伝わってきていますが、例年同様同窓の皆様方の励ましのもと、今年の就職も順調に推移するものと考えています。

同窓の皆様方にも、どうか健康にご留意の上今後とも一層のご活躍をお祈りし、あわせて今後とも宜しくお願ひ申し上げます。



学校近況

教頭 岡崎 紀秋

同窓会員の皆様、本会報で始めてお目にかかりません。私はこの春の異動で佐川高等学校の校長としてご栄転になりました森峯雄先生の後任として着任しました。どうかよろしくお願いいたします。

森先生は工業教育のあり方を深く探究され、本校の教育の向上に尽力されました。また、創立五十年記念事業の準備と実施に手腕を発揮され、成功に導かれました。

私が本校に着任してまず感じたのは、五十年の伝統を大切にしながら、生徒意を高く掲げ、生徒達に明確な目標を持たせて、次の半世紀に向かって新たなスタートをした本校の姿でした。

また、各地で開催された同窓会支部会への出席率の高さに驚き、同窓会の活動がたいへん活発であることに敬服いたしました。

生徒達も一部にはまだ問題がないわけではありませんが、全体的には落ち着きがあり、勉学にスポーツに頑張っています。

このような本校に転任になり身の引き締まる思いがしております。前教頭の森先生と同様に、同窓会員の皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

学校の近況でございますが、ご存じのように昨年は創立五十周年記念事業が実施されまして、同窓会独自の事業として旧学校跡碑の建立、校旗・標旗の

新調、同窓会名簿の発行、記念植樹を実施していただきましたし、記念式典、記念誌の発行、更には、五十周年を記念して生徒会の制定した生徒憲章の碑の建立にもご援助をいただきました。心からお礼を申し上げます。生徒憲章はその内容が今後具体的行動として、生徒一人ひとりの身に着くよう指導して参る所存でございます。

卒業生の数は、三年度卒業生二三名が加わり総数七六七九名(内女子六十名)となり、一方、新入生二一九名を迎えました。

施設設備では家庭科実習室、造船科実習棟が完成し、男女共に学ぶ家庭科がスタートし、男子生徒が慣れないミシンに向かつて縫物をしています。二期には調理実習にも挑戦する予定です。新築の造船科実習棟には、回流水槽が約六千万円の巨費を投じて設置され、船体性能の実習が充実し、造船業界の期待に応えうる生徒の育成に努めています。

部活動では、果体においてソフトボール部が準備勝、空手道部が三位になりました。また、空手道部が夏季選手権大会団体組手で優勝しました。ヨット部は国体に参加しました。多くの部が放課後や夏休みに活発に練習を重ねており、今後の活躍が楽しみです。

教職員の異動は次のとおりです。

退職
池田 進(社会)

転出

森 峯雄(教頭・英語) 佐川高校長
岡林 龍明(国語) 高知西高

森下 英貞(国語) 中芸高
高橋真知子(社会) 仁淀高
千頭 一元(数学) 高岡宇佐
窪田真奈美(英語) 高知東
小野 敬和(化学工業) 安芸工高
山本 俊平(電気) 安芸工高
鎌田 芳一(電気) 宿毛工高
中井 彰(電気) 宿毛小筑紫
青木 春代(事務) 伊野商高

転入

岡崎 紀秋(教頭・電気) 高知東工高定
池添 春人(国語) 高知南高
橘 憂香(国語) 幡多農高
原 正人(社会) 伊野商高
浜田 まや(社会) 高知西高
池田 数人(数学) 新採
西内 裕詞(英語) 窪川高
西谷 英和(化学工業) 新採
安並 正彦(電気) 高知工高
川崎 正光(電気) 高知工高
渡辺 紀(家庭) 仁淀高
中越 智子(事務) 宿毛高

今年は例年になく多くの方が異動になりました。長年、本校にご勤務いただいた方々に感謝し、益々のご活躍、ご多幸をお祈りします。

新しいメンバーを加え、本校の発展に努力しておりますので、同窓会の皆様の変わりぬご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

進路状況に

ついて

進路指導部長

西川 哲夫

常々後輩の就職等について御指導御助言を頂きまして、心よりお礼申し上げます。

バブル経済の崩壊により不景気が進行していると新聞紙上で言われたが一年以上になります。本年度も就職試験の時期が近づきましたが、世界的不況の中で日本経済の変動が就職試験に直接影響してまいります。

国外においてはタイヤ事件のイスラム摩擦、北米自由貿易協定、数ヶ国の内戦問題、湾岸戦争後の諸問題、60年ぶりの超大型ハリケーン「アンドリュー」のアメリカ大陸による史上最大の被害発生、国内においては公定歩合の引き下げ、国産車の肥満による自動車メーカーの人員削減の合理化の発表、消費停滞による家電メーカーの18年ぶりの一時休業や管理職に対する昇給延期を年内いっぱい続ける事の発表、各種大型販売店の来年二学期の業績予想を下方修正、全産業で前年実績割れの電力需要、製造業は消費減速傾向による生産抑制や調整局面が続けられ、昨年十二月より八ヶ月連続で残業時間は前年同月比二けたの落ち込み等、今回の不況は「複合不況」とか「複雑骨折不況」と言われ、簡単に今迄のように回復が見込めないとの話もある中で、五年前の円高不況

対策の六兆円を上回る過去最大の十兆七千億円の緊急総合経済対策の発表や、電力業界は92年度下期に計一千二百億円の設備投資の追加を発表する等景気浮上策がとられている。反面バブルの再現も心配されているが通貨の量やいろいろな複雑にからみ合った不況であるので、そのような心配の必要はないとの見方もあり、本年の経済成長は2.5〜3%で政府予想の3.5%にはとどかないとの見通しと云われる中で受験が始まります。

前日発表された7月の有効求人倍率は1.04倍に低下し、16ヶ月連続の下落で景気の後退がその後も続いていると云われますが、そのような中で一人一人に合った進路指導に努めてまいりました。

本校の立地条件、家庭環境等々一人一人に適した進路希望は、進学一割、県内就職者八〇名前後、県外就職者百名前後の数で毎年内定しております。

尚、表は昨年度の就職者地域別表及び本年度受験希望企業先の地域別表です。それぞれの地域に無事内定した節には先輩方からの卒業生に対し御指導たまわりますようお願い申し上げます。(八月三十一日現在)

地区別	年度別	希望者数	
		先年度就職	3年度就職
関東	東	19	14
東海	東	23	18
関西	関	32	17
大阪市	大	17	18
中・四国	中	32	33
県内	内	81	73

過去3年間の進路状況

年度	生徒数	進学	就職		その他
			県内	県外	
元年	205	24	76	100	5
2	205	19	77	108	1
3	223	19	81	123	0

地区別就職先人数

年度	63	元	2	3
県内	70	76	77	81
中・四国	24	36	35	32
大阪	28	26	11	17
関西	11	8	24	32
東海	15	13	19	23
関東	35	16	19	19

本年度並びに過去2年間の求人状況(会社数)

年度	大阪	関西	東海	関東	中・四国	県外5地域合計	県内	計
2年	162	164	106	312	89	833	136	969
3	244	261	178	511	148	1,342	179	1,421
4	231	240	179	443	186	1,279	124	1,403

支部だより

□□関東支部□□

陸に海に

三十二年電気通信科 野瀬 公介

平成4年の夏は、「明德義塾事件」でふるさと須崎市がスポーツ紙や週刊誌に大きく取り上げられました。パソコン通信「PC-VAN」でも、スポーツコーナーだけでなく石川県や高知県に関する欄に賛否両論が多数寄せられていました。残念ながら高知県にとって有利な説はやはり少ない。私にしても、かつての高知高校や土佐高をして市商のきびきびしたフェアプレーがなつかしく思い出されます。こうなればいよいよわが母校がもう一肌脱がなければなりません。須工なら土佐の純血チームにはば間違いないでしょう……。

ところで私自身は、この夏、丁度甲子園がもめていたころ、東北は宮城県塩釜港で船の学校に入っていました。何度か東京から故郷までの長い道のりを頑張ってくれていたわが家の車もいよいよ寿命が来たので代わりを注文したのですが、残念ながら夏休みには間に合いませんでした。それでは「陸」がだめなら「海」で遊ぶことを習おうと、急ぎよ思い立って船の「操縦学校」への入校手続きをとりました。七夕見物で仙台に一時泊したあと、仙台線にゆられて30分で塩釜港。

その日から早速学科の授業。船舶・気象・海象・

航海・法規・機関・一般常識とまことに目まぐるしいことばに圧倒されました。三角定規やデジバイダーを使ったのも久しぶりです。

おりから日本海を通過中の台風の余波で松島湾も大荒れでした。その中で14トンの練習船に乗せられて実技の訓練が始まりました。これまた見るもの聞くこと初めてづくし。ビルジ、スターンチューブ、キングストン、NC旗、ブルワーク、セクスタント、……この世には不可解なことばもあるもんだと思いつながら、残り少ない脳細胞をフル稼働。母校の造船科が近くにあれば教えて貰えるのに、と残念がりながら深夜まで頑張りました。

せいぜい私が見聞とするのは、電子航法機器の操作と理論ぐらいのもの。

「90度：旋回！」という指示で船首を東に向けて「旋回完了、増速」と、得意になっていると、「なぬやっぺんだ？ さっきさんとこから90度廻せつうこつたぞ。やるなおせー！」と、地元出身の教官殿からまたもお目玉。

休みなしのスパルタ教習もあつという間に過ぎて、いよいよ11日目は最後の検定試験。早朝まだ仲間が寝ている間に起き出して塩釜神社まで駆け足で40分急坂20余段を汗びっしょりになってのお願い掛け。奈良時代から東北の武将達もここに必勝を祈願したというだけあって、なかなかのお社。

その甲斐あつてどうにか無事合格、帰京1箇月後に運輸大臣発給の海技免状「一級小型船舶操縦士」なるものが送られて来ました。いまのところ役に立つあては全くありませんが、こんなことで20トンも

の船を操って世界中を航海出来るなんてほんと？といささか不思議な心境です。

なにはともあれ、これで「陸」の4WDに続いて「海」の遊びも出来るようになったぞ、「空」の方では飛行機とまではいかないが、電波を飛ばしての道楽ではかなりの年を重ねてきたし、と単純な自己満足に浸っております。

いま日本中が長い不況のあらしの中で苦しんでいます。それでも有り難いことに昔のようにたががむしやりに働くだけが能ではない、ということが徐々に浸透し始めてきたということです。幸いにしてわれわれの世代は、滑り込みでこれに間に合ったことに感謝しなければならぬと思っております。

「陸」「海」「空」それぞれの同好の方々からのご教示・ご連絡をお待ちいたしております。



前列右側（ジャケット着用）
支部長 野瀬公介

京滋支部誕生の

報告と御礼

29年造船卒 田村 武夫

昭和五十七年、近畿支部のマンモス化により、府県別支部設立へと、近畿支部は発展的解散となり、京都、滋賀地区は両府県を合わせて、京滋支部設立へと準備を進めて参りました。

漸く本年四月二十六日、京都に於いて、森岡学校長、武森事務局長、寺田須崎支部長、山田大阪支部長はじめ近隣支部代表の皆さんの御出席を賜わり、京滋地区会員多数出席のもとに総会を開き、近畿支部解散後、大阪支部に続く第二番目の支部として、正式に京滋支部が誕生しました。

御来賓の方々は勿論、本日に至る迄何かと御指導を賜りました大阪支部の皆さんを始め、多くの方々に対し、この紙上をお借りして厚くお礼を申し上げますと共に、今後も尚一層の御指導と御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

苦節十年の誕生

近畿支部解散後、しばらくして京滋支部設立へと廣瀬代表(現支部長)が企画され、会員全員に総会開催への案内状を発送して出席を呼びかけました。

現在では同窓会事務局の御努力により住所も精度が高くなっておりますが、当時は未だそうでもない為、返ってくるのは受取人不明の往復ハガキばかり

で、肝心の出席回答者はわずかに数名の為、残念乍ら総会を開くに至りませんでした。

その後は地道な草の根運動へと方向を転換し、会員全員にアタックのしやすいような組織作りから再スタートをしました。組織は卒業年度別はもちろん一社三名以上の職域別、近隣居住区別などに分け、数名毎に世話人をお願いする事にしました。

お互いに仕事を持っている為、その作業はなかなか進まず、ある時は雪の深い夜タイヤチエーンを巻いて遅く迄会員宅を探し廻ったり、又ある人は賛同をいただく為に五回も六回もお願いに伺ったり……それぞれの努力により漸く機の熟した昨年六月、

世話人による設立準備会を開き、以降九月、十一月と世話人の輪を広げ乍ら、京都、滋賀と持ち廻りにて会合を重ね、漸くこの四月、設立に漕ぎつけました。振り返れば近畿支部解散後、実に十年も経過してました。

急増する会員数

近年京滋地区は地の利を得てか工場の進出や住宅の建設が多くなり、会員数も近年増加の傾向をたどり、本年四月現在で二一〇名になりました。

特に滋賀県は道路や鉄道の便も良く、加えて未だく豊かな自然を求めての工場進出が続き、工業生産高は全国六位となり、従来の農業県から工業県へと変っている為、会員も益々増加すると思われれます。

新役員と今後の方針

世話人として熱心に参加下さった中から、次の通

り新役員が決まりました。どうぞよろしく御支援、御鞭撻の程お願い申し上げます。

今後は会員同志が親密に連絡を取り合う事が大切で、幸い支部長は趣味も広く時間的な余裕もあり、会員の面倒見も良い為会員のよろず相談役をお願いしております。浜川副支部長は大の野球愛好家で、自社チームの監督もしており、ソフトボール軟式共愛好家を求めています。私は近畿支部当時から続いているゴルフ愛好会「よきこい会」への参加者を募り大阪支部共々和を広めて行きたい。会員の方は遠慮なく、電話を待っています。(内は自宅電話番号)

役職	氏名	卒年度	科
支部長	廣瀬 理	21年卒業	機械
副支部長	田村 武夫	29年卒業	造船
	(〇七四一三一六一一五)		
	〇七四八一三三〇六〇七		
	浜川 嗣郎	31年卒業	機械
	(〇七七四一四四一六五四五)		
	桑名 傳	33年卒業	機械
會計監事	大崎 栄郎	21	機械
理事	上田 智明	29	機械
	橋田 昌和	34	電気
	中川 栄一郎	35	機械
	久川 章	40	機械
	中村 隆良	40	電気
	山本 光浩	52	機械
	小嶋 幸雄	52	化学
	境 雅博	62	電気

須工卒業五十年後の

徒然に思いを巡らせ

18年機械2種卒 山田 弘市

「光陰矢の如し」と言うが、本当に速いもので須工卒業後はや四十八年が経つ。私も年六十五才、会社も定年退職し年金生活に入っている。日常は「呆け対策と健康保持に専念し、呆け対策には囲碁を習い、健康対策にはできるだけ体を動かすため、家事手伝い、早朝の歩行（五、六千歩）と月一回程度のゴルフをやっている。同窓会では大阪支部の顧問になっており、集会や行事には都合のつく限り参加しているが、余り役に立たず恐縮している。役員の方皆さんはご自身の仕事が多忙な中で熱心に支部行事の計画実施にあたっておられるのには頭が下がる思いである。今、同窓会では若い人の盛り上がる力が一番必要です。若い会員の支部行事への積極的な参加を切にお願いしたい。前置きが長くなったが、私は母校三十年周年記念会報であったと思うが、須工時代（若かりし紅顔の美少年時代）の思い出を寄稿したことがあったので、今回は卒業後を振り返ってお伝えしよう。

昭和十九年一月七日午後、就職が決まった大阪の造船所に赴任のため須崎駅のプラットホームで見送りの父と汽車を待っていたとき、須工初代校長の中内知章先生と偶然出会い、「元気で頑張れよ」と肩を叩かれたときの先生の銀縁眼鏡のあのやさしい坊ちゃん顔（端正な男前）が今でもはつきり思い出される。ちつくと感傷的だがあの時に社会への第一歩を踏出

したのだと今でも思っている。その後昭和二十三年三月まで造船所勤めの生活が続くが、仕事では当時技術者が少なく、甲種工業学校出と言うので待遇がよく、入社間もなく大型引船の造船機装（進水した船の機関室等への機械類の据付調整作業）の担当者を令じられ、何もよく分らないま、無我夢中で働いた。しかし大平洋戦争末期から終戦当時であったため、だんだんと食糧難と米機の空襲が激しくなり会社は爆撃で焼かれ、空襲に怯えながら焼跡の整理や工場再建にあたり、食糧が無く大豆の搾り滓を噛ると言う今から考えると思いもつかない惨たんだる有様であった。（戦線の兵隊さん達はもっと大変だった。）この時代の事を思うと戦争は絶対にやってはならない。子供や孫等戦争の知らない若い人達に機会があることに語り継いで行こうと思っている。

戦前私達は報道、教育等により軍国主義に完全に洗脳されていたと思う。現在でも新興宗教等によって洗脳された人々の良くない話題が新聞やテレビニュースを賑わしている。何ごとと客観的に物事を見考えてその善悪を正確に判断できる能力を身に付けたいものである。

四年余り続いた造船所勤めも戦後の不況による会社の倒産で終りとなった。

昭和二十三年三月日本発送電機（関西電力機の前身）に入社し大阪市内の火力発電所に勤務した。その後間もなく、朝鮮戦争が引金となって戦後の不況のどん底であった日本の経済が好況に転じ、物が出回り人々の生活も漸く楽になって来た。産業発展と共に電力需要が急激に伸び、供給が追いつかず建設

期間の短い火力発電所の建設が続々と行われた。建設される発電ユニット（ボイラー、タービン、発電機が一組になった装置）も七万五千KWから六十万KWまで原子力発電所に至っては百万KWを超すユニットも建設され、より大容量、高効率、自動化された設備となつて行つた。私は入社以来五箇所の火力発電所と三箇所の火力建設所に勤務し、計測機器、自動制御装置の据付、保守を担当した。この間アメリカよりの全輸入プラントの建設で英語の辞書と首つ丈で書類を読んだり、工程に追われたり、装置の調整が難行したり、見落しや失敗等色々苦い経験も多かった。また、役付社員になり、部下を持つようになった時の上司と部下の間立っての人間関係上の問題で人身共にまいったこともあった。しかしどのようなときでもうらたえず、冷静になって対策を考え、前向きな姿勢で事に当れば、道は開け何とかなつたものである。

この時期は計測、制御装置の技術革新も目覚ましく、メーカーにおける新製品の開発、機械式空気式から電気式へ、遠隔集中自動制御化、アナログからデジタルへと日進月歩の時代で毎日が勉強であった。私自身も技術面でも精神面でも大いに進歩し充実した遣り甲斐のある時代であったと自負している。

このようなことはご年配の方であれば仕事や環境が違つても、皆同じ経験をされたことと思う。

年寄の暇にまかせて色々書き綴り、会報の紙面に合わせるため整理したつもりだが、結局はまとまりのないものになってしまつて申し訳ない。

最後に同窓会の皆様方のご健康と、なお一層のご発展を心からお祈りいたします。

思い／＼おぼれ

二十二年機械科三種

國枝 幸治

私の学校歴は支那事変が勃発する一ヶ年前前に小
学校に入学、続いて第二次世界大戦に突入、そして
終戦後一ヶ年余で最終学校であります須崎工業学校
を卒業、実に戦中の学校生活でありましたので日常
生活を含めて、子供や孫達に話しても理解してもら
えない程の物資、食糧等の不足や精神的な不安等に
耐乏生活の中で勉強でありました。この様な困難
な時代に遭遇して苦しい事、おそろしい事が走馬燈
の如く思い出されますが今ではなつかしい思い出と
して、忘れることが出来ません。今回ご縁を得まし
たので須工時代の思い出を思いつくまにペンを走
らせてまいります。

私達四期生は敗戦色の濃くなりかけた昭和十九年
四月機械科第二種一年に入学しました。制帽、制服、
ゲートル等(全て草色)が支給され購入いたしましたし
た。当時は全国津々浦々戦時態勢で学校には陸軍中
尉の将校が赴任されており、「校門は営門に通ずる」
として学校生活も軍隊式でありました。通学時には
ゲートル着用、敬礼は学校内外を問わず先生、上級
生、軍人には欠礼は許されませんでしたので私達新
入生は通学など街を歩いている時は敬礼の対象者が
来ていないだろうかと戦々恐々としていたものです
高知工業学校の帽章は遠くみるとよく似ている様

にみえて敬礼をし調子の悪い思いをしたことの失敗
?は私だけではないと思います。戦中に開発された
でありましょう人造絹糸(人絹といった)原料の衣
服であつたのでこれまた大変苦勞をいたしました。
前述したように通学や学校の教練の時間には必ずゲ
ートル(帯状の布で足首より上方に順に巻きスネ下
のところととめる。そのゲートルの端が三角になつ
ているところとズボンの横の縫目がピッタリ合わな
ければいけない)を着用する事となっており、その
で、巻くわけですが、これが人絹をしてズボンも人
絹で出来ておりますので密着せずゲートルがずれ落
ちました。一時間の教練中にゲートルが落ちたら大
変ときつくと巻くとふくらが痛んで苦しく、さりとて
緩く巻くと、すぐ落ちるので皆苦勞したものであり
ます。私達在校中の学校は紵町の現「ゆたか周辺」
帯が敷地でありました今昔を偲ぶ物は見当りません
入学し月日のたつにしたがつて戦況は悪化し本土決
戦との事須崎の街には海軍の兵士が駐留し敵艦に
体当たりするという人間魚雷艇に乗る軍人もいた様で
す。学校にも或る日登校すると夜夜移動して来た大
勢の海軍の工作兵がおり、空いていた教室校舎は兵
舎に変わり、学校は私達下級生と兵士が同居するこ
ととなり、この状態は終戦まで続きました。この頃
はすでに日本上空は米軍に制空権をとられ須崎上空
にも時には何百機の米軍機が大編隊を組んで松山方
面に飛んでいったり、又帰りには須崎湾に停泊中の
貨物船に爆弾を投下したりしました。二十四時間警
戒警報が解除される事なく、夜間は燈下管制がしか
れ家外には電燈の光がもれない様に布で電球を包ん

だりしました。学校の運動場の隅に防空溝をたくさ
ん構築していざという時の備えとしていました。或
る日の午後、米軍の飛行艇が一機突如来襲、先生が
鐘をげしく鳴らしつゝ、退避しと叫んで走って来
ました。すわ大変と全員が防空溝に避難しました。
この飛行艇は城山を中心にして須崎上空を電線すれ
／＼の低空で飛んでいるように見えました。普通の
飛行機は弾が前方から飛んでくるだけですが、飛行艇
を通過すればもう安心というところですが、飛行艇
は前方、後方、中間とどこから弾丸が飛んでくるか
判らないので大変危険でありました。おそろしいも
のは見たいは人間の常とか、若さも加わり防空溝の
入口に皆首を出して上空に来るのを待っていました
が、向うの防空溝には先生がいて溝に入る様注意を
すれども、私達は無視して入らないので小石が飛ん
で来ました。この飛行艇は胴体の部分が透明になつ
ていて中にいる米兵の数や動作も頭上を通過する時
は我々によく見えました。二、三回旋回した後、城
山の頂上にある監視所をねらって打つたであろうか
大音響がいたしました。敵機が近づいたなと思つた
ら頭上に来ていました。見ておりますと米兵が飛行
艇の中間あたりで腹ばいになって我々の方に機関銃
を向けていたので、この時は溝にあわてて引込む直
後大音響がした。五、六人の溝にいた者が顔をみあ
わせ、無事を知ると入口に首を出した。我々の溝の
十米前方に弾が土に突きささっていたのを見つけて
拾いに飛び出し又先生に右を投げられた。子供を預
かる先生の気持ちも解せず誠に申し訳ない事で、思
い出す度に反省しております。生涯忘れられぬ事は

たくさんありましたが、いただいた範囲が埋まってしまうので又の機会に。

私達四期生が卒業して四十五年が過ぎました昨年は、創立五十周年式典が、関係者、同窓生多数参列し盛大に挙行され、同級生にも会う事が出来感激いたしました。戦中に開校、幾多の困難を乗り越え立派な伝統ある学校に育てられました先人先輩の関係者、諸先生のご努力に深甚なる謝意を表しますと共に、同窓生の皆様方の益々のご活躍をご期待いたしまして、拙い文をもちまして資を完らせていただきます。

□□高知支部□□

「嬉しい後遺症」

二十四年造船科

森 久敬

月を割り湖水を渡る舟ひとつ

仰天楽

今年は何年振りかの美しい中秋の名月をふり仰ぎ十六夜の月の秀麗に感嘆の吐息、これに間髪を入れぬタイミングで日本人宇宙飛行士・毛利氏らに乗せた宇宙船の打ち上げの成功は、バブル崩壊後の醜い地上のうごめきを傍目に、一服の清涼剤とはなり得た。

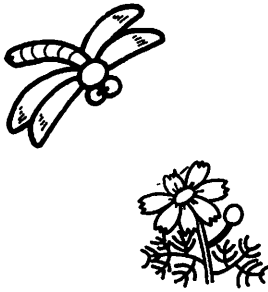
ここ何年振りと言えば、昨年の母校創立五十周年記念式典に向けての諸行事の進行状態の中で、当支部の運営が鈍化したかに見える。その後遺症は現在も持続されているかの観もあるが、これも母校五十周年記念行事の一環の現象と考えれば、それは嬉しい後遺症と云うべきであらう。

この嬉しい後遺症に平行して、慶事も続いた。全体から見ると藤戸進さんの県議当選の朗報。当支部関係では横川寛水君の高知市議会副議長から議長への就任。創立五十周年記念の一としての高知新聞一ページ分の名刺広告は、多少の曲折の経緯はあったにもせよ、吉岡豊延さんの発案通り念願を果たすこ

とが出来たことは、他の発起人有志の数度の会合の努力と熱意の賜物であったが、特に吉岡豊延さん、藤本幸造君、加藤美代治君たちの労を大とし、名刺広告に協力の諸氏にお礼を申し上げたい。小生もその趣意書を書かせて貰ったことを謝したい。なお、この広告の収益金十五万円也は母校造船科の水中翼船建造の実習教材協力金として寄付されたことを付記し、造船科一期生の小生、福永徳七郎以下、陸船会一同の感激するところである。

順不同になるが、一昨年は森下春茂さんの主宰する「日高村民話の会」から日高物語が出版され、小生はその編集に充ったが、多くの同窓の皆さんのご協力（購読）に改めてお礼を申し上げる。更に榎並谷哲夫君の県土木部長就任、笹岡勲さんの黄綬褒賞叙勲。文化面では高知市での第一回個展（洋画）を催した野並允温（のぶはる）君のネパール風景の美麗なるを堪能させて貰った。さらに世界的に著名となった彫刻家・友永詔三君の個展も高知市で催された。事はこのように慶事は爛漫であるが、支部運営は停滞の状況である。これには支部長の竹内良一君、事務局の横川寛水君、その他副支部長、理事、幹事の頭痛の種であり、会計の井上健弘君、会計監査の小生も手持ち無沙汰。

しかし、嬉しい後遺症から脱出し、正常な支部運営に立ち戻る日も遠くはない、と云うのが偽らざる状況であることを報告しておきたい。



クラブ紹介

〔空手道部〕

県空手道夏季大会

優勝 !!

監督 井上日出男

コーチ 中野 達也

平成四年六月十四日(日)。学校ではPTA参観があり、顧問二人は主任をしている為、大会会場へ行けず、父兄が引率しての大会参加となりました。

普段の練習量から考えると『必ず勝てる』と心の中で思いながらも不安は募るばかりで、授業をしていても試合が気になりそわそわしていました。報告が入ったのは夕方四時近くで、キャプテンから「優勝しました」と言われた時は半信半疑でしたが表彰状を見せられてニコニコした顔が目に入った時はうれしくて思わず握手して抱き合いました。

過去の戦績では、個人組手の優勝は何回かありましたが、今回は初の団体組手の優勝だったので喜びも一層大きいものがあり、父兄会が中心となり祝賀会まで開いて頂き感激に浸っています。

現在、空手道部員数は一年生十八名、二年生八名、三年生七名の計三十三名と大変人数の多いクラ

ブとなりました。その中で女子が一名入部してくれ、日々練習に頑張っています。今後、女子部の活躍にも期待して頂きたいと思えます。そしてここで平成四年前半の戦績を書かせてもらいたいと思います。

一月 桃太郎杯(岡山県) 個人ベスト8

二月 四国大会(高知県) 団体3位

四月 県新人戦 個人3位

〃 県春季大会 個人3位

〃 〃 団体3位

五月 火の国旗(熊本県) 一年生ベスト8(個人)

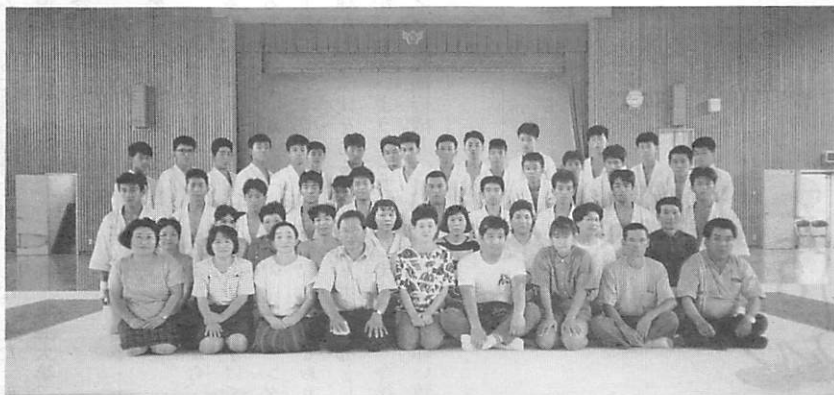
〃 〃 二年生ベスト16(個人)

〃 〃 団体3位

六月 県夏季大会 団体1位

以上の様な結果となっています。又、九月からは郡体育大会、県秋季大会等たくさんさんの大会があり、気を許せない時期となります。『明るく・楽しく・伸び伸びと』をモットーに目標『日本一』を部員一同が目指して頑張っていますので今後とも空手道部への応援をよろしく願致します。

簡単ではありますが近況報告を終わります。



夏季合宿中
空手道部参観日において

【ソフトボール部】

活動報告

監督 津野 隆

コーチ 栄田 文雄

部長 伊藤 正孝

この一年間のソフトボール部の活動を報告させていただきます。

新チームは全国大会を目標に、昨年七月現三年生九名(うち女子マネージャー一名)、現二年生七名計十六名でスタートしました。

春の選抜大会をかけた十一月の新人戦(冬季大会)では、準決勝で高知商業を二対〇で下し決勝戦に進出しましたが岡豊高校に惜しくも敗れ準優勝となりました。

春には九州に遠征。引き続き大阪で行われる関西地区男子ソフトボール研修会に参加し、全国各県の実力チームとの練習試合を通じて技術面・精神面の強化をはかりました。

県体の前哨戦ともいえる春季大会では、二回戦中芸高校・三回戦中村高校西土佐分校・準決勝で学芸高校を二対〇で下し再び岡豊高校との決勝戦にのぞきましたが、乱打戦の末敗れてしまいました。

二度の雪辱を果たすため、打倒岡豊高校・県体優

勝・全国大会出場を目標に厳しい練習を重ねました。また、五月の連休には愛知県半田市で開催されたH6・わかしお国体リハーサル大会に招待をうけ参加し準優勝、県外チームとの試合を通じチーム力の強化もはかりました。

こうして臨んだ県体は、二回戦中芸高校・三回戦椿原高校・準決勝山田高校をいずれもコールドゲームでしりぞけ、準決勝も明德高校を二対〇と下し岡豊高校との決勝戦にのぞきました。その決勝戦は大接戦となり延長戦へともつれ込みましたが、八回ついに力尽き二対三と惜しくも敗れ準優勝となりました。この結果四国大会への出場権を獲得しました。

香川県多度津市で行われた四国大会では、準々決勝で地元の多度津工業高校に惜敗し入賞はなりませんでしたが。

七月の国体予選(夏季大会)に準優勝の結果、本校より高知県選抜チームに五名の選手が選抜され、津野監督もコーチとして選ばれました。高知県選抜は四国大会を勝ちぬぎ、十月に山形県で開催される国民体育大会に高知県代表として参加します。現在合同練習に励んでおりますが、本校選手もきつと活躍してくれるものと思います。

さて、新チームですが、四国大会終了後、二年生六名、一年生七名の計十三名でスタート致しました。七月・八月には愛知・福岡・滋賀・山形・大阪の各

チームが高知県遠征として本校に來校し、県内チームとともに練習試合を行いました。また、熊本県に遠征、熊本工大高・熊本工業高・東海大第二高と試合・合同練習を行いました。

九月の郡体では、吾北分校・伊野商業・大正高校を下し優勝を致しました。

とはいえチーム作りはまだこれから、課題も多く、十一月に春の選抜大会の切符をかけて行われる冬季大会(新人戦)や来年の県体(インターハイ予選)に向けて厳しい練習に取り組んでおります。輝かしい伝統を誇る本校ソフトボール部として恥ずがしくないようにと努力致しますので、今後とも他クラブ同様皆様方の暖かいご声援をお願い致します。



【卓球部】

活動報告

顧問 町田与志一

昨年は、卓球部顧問になったばかりで秋季大会3位となり、四国大会にも出場することができました。一年生主体のチームではありましたが、生徒も頑張ってくれたおかげでより充実した一年間となりました。

昨年の活動も含め卓球部の活動報告をさせていただきます。

昨年度の春季大会は、3年生が主体で予選で敗退してしまいましたが、県体では個人戦で一年生一名が、二・三年生を押しつけてベスト16に入り期待を膨らませてくれました。しかしながら一年生では、やはりチームの中心となって戦うには荷が重すぎるのか夏季大会では、集中力にも欠け予選敗退という結果となり、その後の秋季大会でも生徒の気持ちとは逆に、私自身不安だらけの気持ちで臨まなければなりません。予想通り予選から苦戦の連続でいつ敗れてもおかしくない状態でしたが、何とか競り勝って決勝トーナメントに進出しました。最初の対西高校戦では、第一・第二ゲームを相手に取られ

もはやこれまでかと思いましたが、ダブルスを接戦で取った後は、波にのって逆転勝ちをおさめてしまいました。私自身もこういう試合は初めての経験で生徒と共に大声で応援を送り最後まで興奮していました。次の明徳戦では、全く歯が立たず、3位決定戦に臨むことになりましたが、対高知高校戦では、西高校戦での勢いを保持して快勝し、試合前は予想もしなかった四国大会出場が決定しました。

四国大会では、社会人チームと対戦し、試合を押しているにもかかわらず、点差は開いていく一方で力不足で敗れてしまいましたが、生徒は全力でやってくれました。

今までは予選敗退が多く苦しんでいましたが、この生徒達のお蔭ですばらしいドラマが生まれ、非常に嬉しく思っています。高校生の年頃は、回りの環境によって著しく変身をとげ、すばらしい成長が可能であるものだとつくづく感じました。本年度に入っても昨年のメンバーがほとんど残り、春季大会と県体ではベスト8、夏季大会ベスト16と健闘しました。まだまだ上位の壁は厚いですが、決勝トーナメントで戦える力をつけてきたように思います。

現在は、楽しみながら1年生も入部し、昨年の再現を目指して頑張っています。

卓球部は、生徒の自主性を考年楽しい練習を主眼において日々努力しています。例年おとなしい生徒が多く平常心で試合に臨むことができず相手のペー

スで終わることが多いですが、生徒が自分なりに全力で試合に臨む姿は好感が持てます。まだまだ未熟なクラブで、やらなければならぬことは、たくさんあります。今後よりいっそう頑張っていきたいと思っておりますので今までのご声援を末長くよろしく願います。

町田与志一



平成四年度

開校記念講演行われる

三十年電気通信科

野並 允温 大阪支部

〒 摂津市新在家二丁目九一〇
06-340-5962

学校行事として開校記念式典が毎年行われていま
す。本年度は五月二十五日に大阪支部より遠路なお
かつご多忙の中、開校記念御講演者として来校して
下さり、六百三十名の生徒の前に絵画を通じて「余
暇の時代を生きる」と題して、興味あふれる人生の

歩み方を講話して下さいました。
生徒達には力強く、大いなる励みになりました。
ご講話に御礼を申し上げます。
尚、野並様はアクリル画を得意としています。昨
年の母校創立五十周年記念式典に伴い五〇号の大作



「昆陽池にて」
「みんな笑って」
もつと笑って」
の二枚と一〇号
の作品「昼下が
りの農村」一枚
を記念として寄
贈を賜りました。
野並様は外国
を含め各地で個
展を、本年八月
には高知市内の
大丸デパートで
初の古里展が開
かれました。
これからの益
々のご活躍を！



開校記念日

綱引き大会

古き昔にはクラス別「相撲大会」が
行われていましたが！

平成4年度 本部役員名簿

役 職	氏 名	卒コード	科別	
顧問	田辺 博造	S 18-013	機械2種	
名誉会長	森岡 清	S 26-020	機 械	
会 長	清家 寛	S 18-010	機械2種	
副 会 長	寺田 郁男	S 21-025	機械1種	
常任理事	武森 幸利	S 35-039	機 械	
	武内 徳雄	S 23-034	機械2種	
	竹内 良一	S 25-014	機 械	
	岡林 幸保	S 28-038	造 船	
	下元 征夫	S 37-129	電気通信	
	高橋 三雄	S 32-019	機 械	
	植田 幸子	S 32-095	電気通信	
	山崎 吉広	S 33-087	造 船	
	西森 昌身	S 34-121	電気通信	
	井上 耿介	S 39-004	機 械	
	津野 隆	S 41-090	造 船	
	竹崎 貞男	S 43-040	機 械	
	古谷 恭啓	S 49-104	造 船	
	長山 孝弘	S 52-028	機 械	
	岡崎 明	S 53-046	機 械	
	理 事	中平 萬年	S 18-017	機械2種
		田村 耕吉	S 18-014	機械2種
		川添 泉	S 21-012	機械1種
		中西 二郎	S 21-027	機械1種
		廣瀬 理	S 21-029	機械1種
	山田 豊	S 21-035	機械1種	
	吉村 功	S 21-081	機械2種	
	岡林 懸市	S 23-027	機械2種	
	堅田 耕勇	S 25-006	機 械	
	竹下 俊郎	S 25-014	機 械	
	野瀬 公介	S 31-099	電気通信	
	中西 安男	S 32-023	機 械	
	江口 長靱	S 33-041	機 械	
	松浦 政志	S 35-064	機 械	
	山地 健三	S 39-180	化学工業	
	長谷部俊夫	S 41-168	化学工業	
	梅原 正博	S 47-116	化学工業	
	坂本 定浩	S 54-009	機 械	
監 事	坂本 臣三	S 25-009	機 械	
会 計	松浦 博	S 37-104	造 船	
	西山 庸一	S 48-090	造 船	

支 部 長 幡多：松浦政志 窪川：川添 泉 須崎：寺田郁男 高知：竹内良一
 大阪：山田 豊 京滋：廣瀬 理 中京：岡林懸市 関東：野瀬公介

平成3年度決算報告書

費目	金額(円)	備考
収入	423,471	
前年度繰越金	414,000	207名*2,000円
新入生入金	167,951	
雑収入	1,568,946	
特別会計利息	760,000	
特別会計補助	3,334,368	
特別会計計	100,000	
雑収入		
特別会計より補助		
特別会計計		
支出		
開校記念品代	56,797	
会報印刷代	639,600	
会報送料	682,438	
封筒代	97,944	
刷替紙	501,861	
その他	54,360	
通信費	37,681	
事務費	0	
庶務費	102,419	
広報費	495,400	
支部配分金	58,922	
雑費	90,000	
旅費	28,705	
予備費		
計	2,946,127	
収入	3,334,368	
支出	2,946,127	
残高	388,241円	

<特別会計>

費目	金額	備考
前年度未積立額	26,960,000	
本年度納入額	4,160,000	新卒(2,230,000) 旧卒(1,930,000)
一般会計補助	▲760,000	
50周年基金	▲3,610,000	
計	26,750,000	

監査報告

諸銀簿及び証憑類等により監査の結果金額その他については相違なく、預金通帳・定期預金証書とも確實に管理適正に執行されている。

平成4年4月14日

監査 坂本 臣三

山地 健三



平成4年度予算

(収入)

費目	金額	備考
前年度繰越金	388,241	
新入生入金	438,000	
特別会計利息	1,267,009	219名*2,000円
雑収入	27,750	
特別会計より補助	750,000	
特別会計計	2,871,000	

(支出)

費目	金額	備考
開校記念品代	60,000	
会報印刷代	680,000	8000部
会報送料	400,000	8000部
封筒代	70,000	6000枚
刷替紙	20,000	4500枚
その他	180,000	
通信費	50,000	
事務費	10,000	
庶務費	150,000	
支部配分金	594,600	関東339 中京188 大阪403 京滋71 高知671 須崎1146 窪川78 幡多77
雑費	50,000	
旅費	472,000	
予備費	54,400	
計	2,871,000	

平成4年度特別会計予算

項	金額	備考
前年度未積立金	26,750,000	
4年度納入予定額	2,500,000	
計	29,250,000	
一般会計へ補助	750,000	
計	750,000	
平成5年度へ累積立額	28,500,000	

50周年記念協賛金会計報告

(収 入)

費 目	金 額	備 考
協 賛 金	2,545,262	385名の方々より
合 計	2,545,262	

(支 出)

費 目	金 額	備 考
記 念 植 樹	200,000	玄関前中庭に記念植樹
記 念 碑 建 立	1,000,000	生徒憲章碑建立
グランド夜間照明	800,000	グランド夜間照明灯建設補助
同窓会備品購入	416,104	水平プリンターと専用椅子
通 信 費	100,173	切手代等
一 般 会 計 へ	28,985	一般会計内の雑収入に繰入
合 計	2,545,262	

皆様方からの多大なるご協力のもと、¥2,545,262円もの協賛金をお寄せ頂きまして有り難く厚く御礼申し上げます。

用途につきましては、平成4年5月11日に本校応接室にて行われました平成4年度理事会において決定承認され、上記のごとく運用させて頂きましたこと、ご報告いたします。

平成4年9月20日

会計担当 西山 庸一

創立50周年「記念誌」購入注文できます

多くの皆様よりご寄稿のありました「創立50周年記念誌」370頁におよぶ立派な物が出来ました。

25冊お分けする事ができます。

3,500円 (送料含む)

注文販売のお世話を同窓会事務局で扱います。

会報内添付葉書「通信欄」をご利用して注文して下さい。

<創立50周年記念誌の記載の訂正とお詫びについて>

上記記念誌の記載につきまして、一部誤植がありまして下記の通り訂正をし、不行き届きをお詫びします。

学校長 森 岡 清

場 所	誤 植	訂 正
301頁・上段・16行・23字目	船用	舶用
301頁・上段・16行・23字目	戦徒	学徒
303頁・上段・8行・8字目	船用	舶用
367頁・上段・15行・27字目	谷口慶介	谷口正秀
367頁・上段・16行・12字目	会員	元副会長

都道府県別 会 員 人 数 会報届先での確認

平成4年9月29日現在

府 県 別		人数	会報届先数 7,167		届先不明数 356	逝去数 184
府 県 別	人数	县市町村別	人数	郡 町 村 別	人数	
北海道	11	福岡県	34	香我美町	17	
青森県	1	佐賀県	0	土佐山田町	12	
岩手県	2	長崎県	2	物部村	1	
宮城県	6	熊本県	7	高岡郡	1,429	
秋田県	1	大分県	11	大野見村	43	
山形県	0	宮崎県	4	越知町	136	
福島県	6	鹿児島県	4	窪川町	215	
茨城県	24	沖縄県	4	佐川町	395	
栃木県	7	高知県	4,533	中土佐町	268	
群馬県	9	高知市	908	葉山村	200	
埼玉県	91	安芸市	5	日高村	121	
千葉県	95	宿毛市	22	仁淀村	18	
東京都	189	須崎市	1,352	東津野村	23	
神奈川県	233	土佐市	295	椿原町	10	
山梨県	2	土佐清水市	11	土佐郡	1	
長野県	5	中村市	47	鏡村	0	
新潟県	3	南国市	78	土佐山村	0	
富山県	3	室戸市	5	大川村	0	
石川県	2	吾川郡	211	土佐町	1	
福井県	2	池川町	3	本川村	0	
岐阜県	18	伊野町	167	長岡郡	3	
静岡県	45	春野町	22	本山町	3	
愛知県	226	吾川村	19	大豊町	0	
三重県	57	吾北村	0	幡多郡	120	
滋賀県	67	安芸郡	4	大方町	5	
京都府	68	馬路村	0	大月町	7	
大阪府	561	北川村	0	佐賀町	67	
兵庫県	235	田野町	1	大正町	13	
奈良県	51	奈半利町	1	十和村	21	
和歌山県	18	安田町	1	三原村	1	
鳥取県	3	芸西村	0	西土佐村	6	
島根県	4	東洋町	1	海 外	14	
岡山県	71	香美郡	42	終身会費		
広島県	61	赤岡町	2	納入済み	3,684	
山口県	6	香北町	2	未 納	4,023	
徳島県	30	野市町	7	" の内逝去	154	
香川県	134	夜須町	0			
愛媛県	124	吉川村	1			

《写真紹介》

会報への新しい試みとして

創立五十周年記念樹「青木」

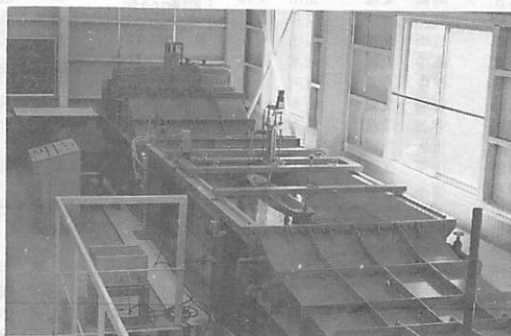
赤い実をつけます。野鳥へのご馳走です!!
学校並びに同窓会の発展を願いながら!!



船体実験装置

新築された造船科実習実験室に
設置された最新船体実験装置
流速最大 2.5m/secによる実験
を行なう事が出来ます。

(旧造船科職員室並びに建造実
習室は家庭科実習室に改装(3
年度)されました)



船体建造実習

新築になった快適な建造実習室
での船体建造実習中!!

会 員 名 簿



ソフトボール部

全国制覇を目指して頑張っています。

部員名	学年
西山 康	三年
...	...



バスケットボール部

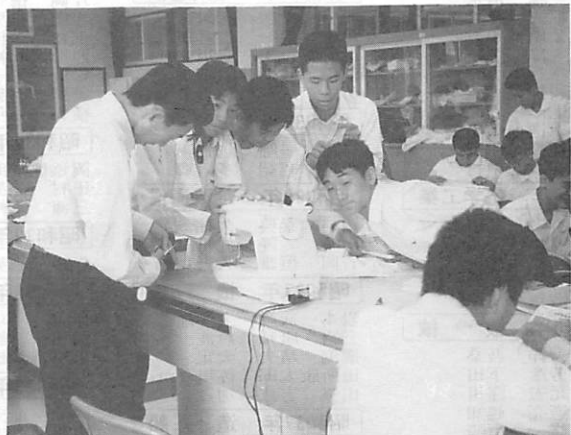
身体と精神を鍛えています!!

部員名	学年
...	...

家庭科実習授業 (一年生 新教育課程)

新装された実習室でのエプロンの製作中!!

僕の私の縫ったエプロンは素敵でしょう!!



校歌

- 一、須崎工業高校の
教の庭に身と心
新天新地光明の
輝やくもとに勇ましく
日々鍛いぬく健児団
- 二、自然の暗示わが教
太平洋の荒波は
わが人生の活動か
さらに心の平穏は
波静かなる錦浦
- 三、工業報国理想とし
自主独立の精神を
いだき責務を怠らず
真理と正義重んじて
わが向上の道を逐う

各種証明書の発行について

(母校事務室からの伝言)

証明書が必要なときは、法令の定めにより証明書交付申請書別紙(用紙は事務室に備付)を校長宛提出しなければなりません。(第二号十九頁の様式)申請書には必要事項記入のうえ押印し左記金額に相当する高知県収入証紙を貼付してください。遠隔地からの申込みは事務手続に相当の日数を要しますので早目に申込みをしてください。又県外には高知県収入証紙は販売していませんので、切手、又は現金を同封してください。

なお返信用の封筒には切手の貼付、住所、氏名、郵便番号をお忘れなくご記入ください。

手数料は次のとおりです。

卒業証明書 一通につき三五〇円
成績証明書 一通につき三五〇円
単位修得証明書 一通につき三五〇円

送り先 〒785須崎市多の郷和佐田甲四一六七ノ三

高知県立須崎工業高等学校事務室

電話(〇八八九)四二一八六一

四二一八六二

FAX(〇八八九)四二一七七一

証明書の件につき不都合または不明な点等がありましたらいつでも右記電話番号の証明係までお電話ください。

編集後記

第十七号の会報「にしきうら」をお送りします。今回、原稿につきましてお願いをしましたところ、心よく原稿を送って戴き本当にありがとうございます。

終身会費につきましては、納入済み者一年間を載せることになりました。ご確認をしていただきたいと存じます。

今後につきまして良い記事や会報内容へのご意見がありましたら事務局までご連絡下さい。

尚印刷につきましては、須崎市内の笹岡印刷所さんにお願ひし、大変お世話になりました。心から御礼申し上げます。

会員の皆様の御活躍をお祈り申し上げます。

事務局会報編集委員会

岡崎 明

植田 幸子

会報「にしきうら」第十七号

平成四年十二月一日発行

高知県立須崎工業高等学校

発行所 同窓会事務局

印刷所

高知県須崎市東古市町二番十六号
有限会社 笹岡印刷所